

行財政運営に関する部会での主な意見

【第3部会】

少子化・低成長時代は続くものと見込まれ、今後の労働条件・雇用条件と子育て家庭の生活(ワーク・ライフ・バランス)を踏まえると子育て観を変える必要があり、これまでの施策の整理を行い、今後の施策を再構築することが必要である。

児童・青少年への文化環境づくりとして、新しい施設・事業・支援助成のしくみを作る必要はなく、現在あるものを横につなげていけばよいと思う。

- ・ これまでの施設・事業・委員会を、子どものライフステージや発達段階に即して整理・統合・連携し、利用する区民にとって分かりやすいように提示する。
- ・ 地域において子どもを育てる仕組みを円滑に進めるために、行政内部に領域横断的な組織を創る。

杉並区は、保育園の待機児解消に積極的に取り組んでいるが、一方で財源という問題もあり、民間活力の活用を含めた対応を図る必要がある。